点検整備

●出航前点検、定期点検は必ず行い、海上での故障や漂流の危険を減らしましょう。
●修理や定期点検の結果は整備記録に必ず記載し、メンテナンスに役立てましょう。

定期点検

定期点検スケジュール

点検項目 ＼ 期間	最初の20時間又は1ケ月後	100時間毎又は6ケ月毎	200時間毎又は1年毎	オフシーズン（長期格納時）
エンジンオイル	R	R		R
＊エンジンオイルフィルター	R		R	
ギヤオイル	R	R		R
給油／給脂	I	I		I
スパークプラグ		I		I
＊タペットクリアランス			I	
燃料系統／ブリーザーホース	I	I		I
燃料フィルター（低圧側）	I	I		I
＊ワイヤリングハーネス／コネクター	I	I		I
＊リモートコントロール	I	I		I
＊パワートリム＆チルト	I	I		I
プロペラ／プロペラナット	I ＆ T	I ＆ T		I ＆ T
アノード（外部取付け）	I	I		I
＊アノード（シリンダーブロック／ヘッド内部取付け）		I		
＊ウォーターポンプ／ポンプインペラ			I	I
＊ボルト＆ナット	T	T		T
バッテリー	I	I		I
＊アイドリング回転	I		I	I
＊サーモスタット			I	I
MPCフィルター		I		

I：点検、清掃、調整、給油、不具合部品は交換してください。T：締付、R：交換

船外機取扱説明書巻末の点検・整備記録表

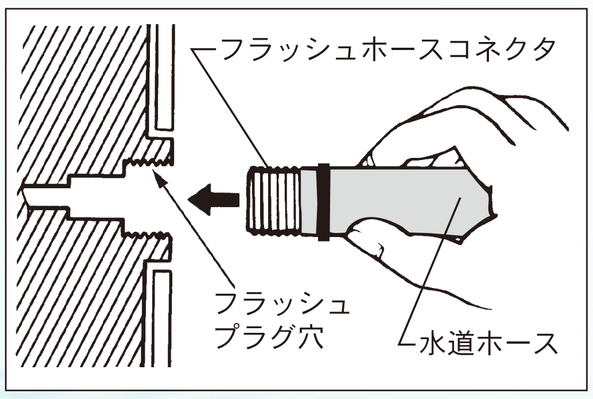
点検・整備記録表

定期点検			
点検時期	実施販売店	実施者氏名	実施日
初回20時間目	鈴木ボート販売	鈴木 三郎	令・5・1・7
6ヶ月目	鈴木ボート販売	鈴木 三郎	令・5・7・7
12ヶ月（1年）目			・・・
60ヶ月目			・・・
66ヶ月目			・・・
72ヶ月（6年）目			・・・

その他の整備			
整備内容	実施販売店	実施者氏名	実施日
			・・・
			・・・
			・・・
			・・・

運転後は船外機外装と冷却水通路を水洗いしてください。

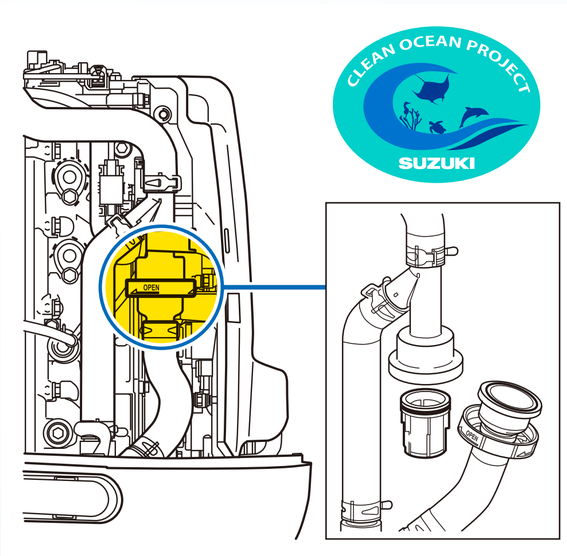
フラッシュプラグを使用する場合



①エンジンを停止してください。
②エマージェンシーストップスイッチからロックプレートを外してください。
③エンジンを直立姿勢にしてください。
④フラッシング終了後は確実にプラグを締め付けてください。

寒冷時に冷機状態でフラッシングすると冷却水通路内が凍結により破損する場合があります。
エンジン停止後、速やかに作業してください。

マイクロプラスチック回収装置(MPC)



2023年モデルDF140BG/115BG
DF140B/115B/100Cに標準装備

マルチファンクションゲージ(SMG4)と携帯アプリのSDSモバイルプラス(SDSM+)の使用で、エンジンデータをもとにした船外機の状態確認やチェックリストにそった効率的な出航前点検が可能です。

SUZUKI